

最新の設備で、 流山市の毎日の快適な暮らしを支えます。



流山市長 井崎 義治

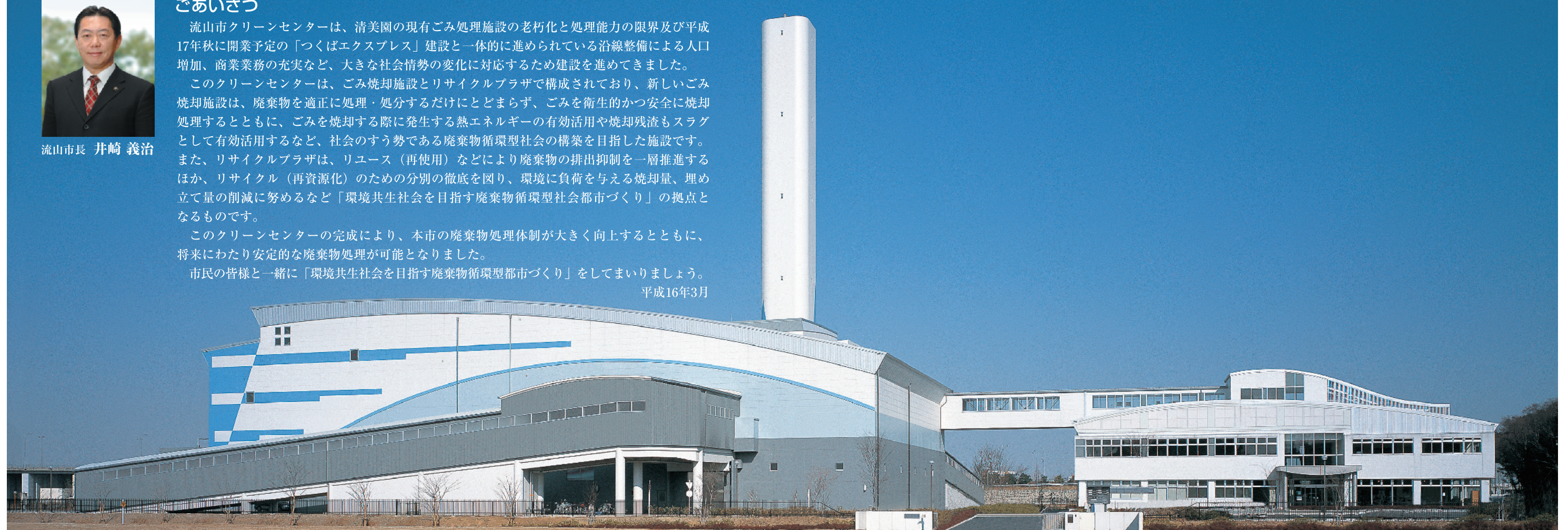
ごあいさつ

流山市クリーンセンターは、清美園の現有ごみ処理施設の老朽化と処理能力の限界及び平成17年秋に開業予定の「つくばエクスプレス」建設と一体的に進められている沿線整備による人口増加、商業業務の充実など、大きな社会情勢の変化に対応するため建設を進めてきました。

このクリーンセンターは、ごみ焼却施設とリサイクルプラザで構成されており、新しいごみ焼却施設は、廃棄物を適正に処理・処分するだけでなく、ごみを衛生的かつ安全に焼却処理するとともに、ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーの有効活用や焼却残渣もスラグとして有効活用するなど、社会のすう勢である廃棄物循環型社会の構築を目指した施設です。また、リサイクルプラザは、リユース（再使用）などにより廃棄物の排出抑制を一層推進するほか、リサイクル（再資源化）のための分別の徹底を図り、環境に負荷を与える焼却量、埋め立て量の削減に努めるなど「環境共生社会を目指す廃棄物循環型社会都市づくり」の拠点となるものです。

このクリーンセンターの完成により、本市の廃棄物処理体制が大きく向上するとともに、将来にわたり安定的な廃棄物処理が可能となりました。

市民の皆様と一緒に「環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり」をしてまいります。平成16年3月



全体施設概要

- 施設名称：流山市クリーンセンター
- 所在地：流山市下花輪191番地
- 敷地面積：全体敷地面積 約4.4ha
- 建築面積：リサイクルプラザ(リサイクル館) 5,262m²
ごみ焼却施設 5,798m²
- 施設規模：リサイクルプラザ(リサイクル館) 52t/日
ごみ焼却施設 207t/日
- 構造：リサイクルプラザ(リサイクル館) 鉄骨造
一部鉄筋コンクリート造
地下1階・地上3階
リサイクルプラザ(プラザ館) 鉄骨造
地上3階
ごみ焼却施設 鉄骨造
一部鉄筋コンクリート造
地下2階・地上5階
- 建設費：リサイクルプラザ 2,572,500千円
ごみ焼却施設 8,820,000千円
- 工期：着工 平成13年8月
竣工 平成16年2月

リサイクル館概要

- 施設規模：52 t / 日 (5h)
- 粗大ごみ処理系：7.8t/5h×1系列
- 燃やさないごみ処理系：18.9t/5h×1系列
- びん・缶処理系：5.3t/5h×1系列
- ペットボトル処理系：0.8t/5h×1系列
- その他プラスチック包装・その他のプラスチック類処理系：19.2t/5h×1系列
- 不燃・粗大ごみ処理系
- 受入供給：ピット&クレーン及びダンピングボックス方式(燃やさないごみ系)
受入ホッパ投入方式(粗大ごみ系)
- 破 砕：二軸剪断破砕機、二軸引裂破砕機、高速回転式破砕機
- 選別種類：鉄類、アルミ類、可燃物、不燃物
- 搬 出：鉄類、アルミ類はホッパに貯留後、搬出
- 資源物(びん・缶)処理系
- 受入供給：受入ホッパ投入方式
- 選別種類：スチール缶、アルミ缶、びん類(無色、茶色、その他)
- 搬 出：缶類はプレス後、搬出・びん類はヤード貯留後、搬出
- ペットボトル処理系
- 受入供給：受入ホッパ投入方式
- 選別種類：ペットボトル、ペットボトル以外のボトル
- 搬 出：圧縮梱包後、搬出
- その他プラスチック包装・その他のプラスチック類処理系
- 受入供給：受入ホッパ投入方式
- 選別種類：軟質系プラスチック、その他プラスチック
- 搬 出：軟質系プラスチックは圧縮梱包後、搬出

プラザ館概要

- 市民開放ゾーン
 - (1) 展示コーナー
 - (2) 情報コーナー
 - (3) 研修室
 - (4) 工芸室
- リサイクル機能再生工房

焼却施設概要

- 施設規模：69t/24h×3炉 計207t/日
- 受入供給設備：ピットアンドクレーン方式
- 熔融焼却設備：ガス化熔融炉(流動床式)
- 燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ方式
- 排ガス処理設備：ろ過式集じん器、湿式有害ガス除去装置、触媒脱硝設備
- 余熱利用設備：発電(最大3,000kW)、給湯、冷暖房、地域融和施設に供給予定
- 通風設備：平衡通風方式、煙突(120m)
- 灰出し設備：鉄分・アルミ・不燃物(パンカ方式)
水砕スラグ(ピットアンドクレーン方式)
- 給水設備：圧力給水方式
- 排水処理設備：凝集沈殿、ろ過方式

全体配置図

